

を体系的に進め、地域の特性と村民の創意工夫が生かされる生活圏づくりを推進します。

また、住みよい村づくりは、村民が地域社会と村政への積極的な参画によって得られるものであり、村民の諸要求を的確にとらえ、自治意識の高揚を図り、村民活力を醸成し快適な生活環境を創造します。

●自然と生産と生活が調和した秩序ある土地利用
村の産業を振興し、村民が快適な環境で生活するためには、限られた土地と資源を有効に活用し、自然と生産と生活が調和された秩序ある社会の形成を図る必要があります。このため、農用地、市街地、集落地、学校用地、企業立地用地、などの利用区分を定め土地利用の規制を強化しながら整然とした土地利用を推進します。

また、街機能の集積により魅力ある市街地形成のため、都市計画区域の設定をし、都市的發展への素地づくりと拠点形成に努めます。

●道路網の整備
地域の振興発展と住みよい生活環境を形成するために道路の整備は欠くことのできない基礎的条件です。このため、国道二六号から新幹線、高速道インターチェンジに直結する道路など、広域幹線道路網の整備、主要地方道新潟寺泊線バイパスの促進をはじめとする地域幹線道路網の整備を図ります。

●高齢者福祉

日常生活圏を中心とした生産活動、趣味活動などを奨励し交流の場を設け、地域における高齢者の役割を確立し家庭や社会での高齢者福祉の充実に努めます。

●母子(父子)福祉

相談体制を充実し、仲間づくりの推進、資金の貸付など公的援助を図り、自立促進のための援助を推進します。

●低所得者福祉

様々な生活上の問題点を把握し、それに対応した効果的な援護サービスの充実に努めます。

産業の振興

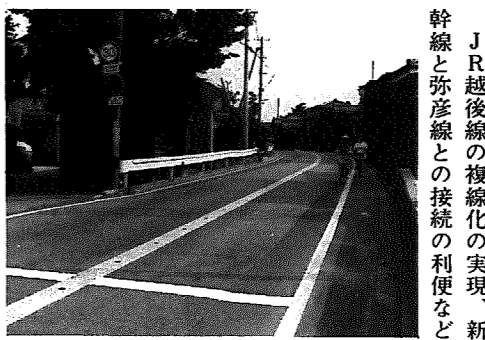
●活力ある産業の基盤づくり

地域の活性化は、村民の創造性溢れる意欲と産業の発展にあります。このため、厳しい状況下で大きな変革を迫られている農業は、



生活に根ざす生活道路については、国道との有機的な連携を図りながら、将来の交通量増加に対応できる村道の改良整備を推進します。このほか、歩道の整備、消雪施設、流雪溝の整備、主要道路に位置する橋りょうの改良を促進します。

●交通網の整備



JR越後線の複線化の実現、新幹線と弥彦線との接続の利便などを促進し、高速交通時代に即応した輸送体制の実現を図ります。バスについては、運行体制の根本的改善を進めるとともに、運行回数の増大、電車との接続の利便を考えた運行回線の工夫などを進めます。

●情報・通信

高度情報化社会に対応するため、新しい情報システムの導入を進め、情報サービスの充実、情報の高度活用を積極的に推進します。

基幹産業として、それらを克服して将来に展望ある振興策を講じる必要があります。商業・工業・観光との調和と均衡を図りながら相乗効果が期待できる産業体系の確立を推進します。

また、異業種間の交流を進め相互理解にもとづく地域総合連関による産業の振興を促進し、活力ある産業の基盤づくりを図ります。

●農林水産業

良質米コシヒカリの産地化と経営の合理化による高効率生産団地・地域営農集団等の育成を進め主産地形成を図ります。

林業は、林道の整備を進め木材資源の利用、しいたけなどの特産林産物の生産拡大など林地の複合活用を推進します。

漁業は、流通加工、沿岸漁業構造改善対策、漁業協同組合の強化などを推進し経営の安定を図ります。また、国県事業との関連のなかで、間瀬海岸沿岸部の埋め立て計画を実現し、これによって創出される用地を漁港事業の目的に添った利用計画と地域の環境整備を推進します。

●商業

多様化に対応した既成商店街の整備を促進し商工会機能の強化と魅力ある商業地域の形成を図ります。また、市街地の拡大に伴う、新しい商業圏域を開発します。

●公園・緑地

生活に潤いとやすらぎを与える公園は、健康で文化的な生活を営むうえで欠くことのできない施設です。丸山緑地公園は村内外から緑豊かな憩いの場として親しまれます。

生活基盤の整備

新幹線や高速道路などの整備によって、人的、物的な交流が盛んとなり、産業や経済、教育、文化の面で長短両面にわたって様々な影響を与えています。

このように、否応なく押し迫る都市的变化への対応は、自然環境との調和を図りながら生活環境や生活基盤の整備を進めることにあります。村の特性を生かし、都市機能の充実に努め、安全で一人一人が健康で暮らせる村づくりを促進します。

●住宅

良好な宅地を計画的に確保し、秩序ある宅地の造成を誘導し住宅環境の整備を図ります。

●上水道

給水施設の整備など施設の充実に努め、水源確保や水質保全の対策を実施し良質の水を安定的に供給します。

●保健・医療

保健指導の充実を図るとともに自らの健康は自ら守るという健康管理意識の高揚に努め、今後、増

●工業

村の地理的、社会的特性を生かした工業立地を促進し、調和のとれた工業の振興を図ります。

●観光

産業の基幹として、魅力ある観光資源の開発に努め、広域観光の視点に立つ観光の発展をめざします。

教育・文化の振興

●創造性豊かな人づくりの推進

村民一人一人がよくなること、村の活性化につながる力であるという村の生涯学習推進の理念に沿って、生涯を通して自己向上の努力を尊びそれが正当に評価される社会、いわゆる生涯学習社会への方向をめざして、総合的な教育機能の整備を図り、創造性豊かな人づくりを推進します。

●就学前教育

幼児教育における保育園の役割を重視し、生涯学習の観点から可能な限り、社会教育、学校教育との相互連携を図ります。また、家庭教育の基本である親子、孫の好ましい家族関係の確立と家庭における教育力の向上を図ります。

●学校教育

人間性を原点とする教育を基本理念に、地域に根ざした教育を進め、自己教育力を備えた心身ともに逞しい人間性豊かな児童生徒の

まれています。今後、このような公園緑地の機能が地域に根ざす形で十分果たせるよう施設の整備を進めます。

●安全で一人一人が健康な村に

加すると予想される老人疾病に即応できる医療機関との連携を進めます。

●環境衛生

清潔で健康的な生活環境を維持していくため、日々排出されるごみ、し尿などの汚物を衛生的・効率的に回収処理します。

●交通安全

交通安全意識の高揚と交通道徳の涵養を図り、民間の交通安全活動団体とも連携して交通安全対策を推進します。

●消防・防災・救急・防犯

消防については近代消防力の充実と消防団組織を強化し、予防意識の高揚を図ります。また、治山治水対策、河川改修整備を促進するほか、救急活動は、

育成を図ります。

また、教育環境の整備、特に老朽校舎の解消に努めるとともに、学校規模と配置の適正化、教育内容および施設設備の充実、特殊教育の充実を積極的に推進します。

●社会教育

生涯の各時期における学習機会の拡充と学習内容の充実を図り、その自主活動を促進します。また、社会教育施設と指導者の充実を図り、生涯学習や郷土理解学習などの生涯学習事業を推進します。

●社会体育・レクリエーション

生涯を通じてあらゆる機会に体育レクリエーションに親しむことのできる環境を整え、「スポーツの活性化」を図ります。また、山麓・海洋を利用した観光リゾートスポーツとの連携を進めます。

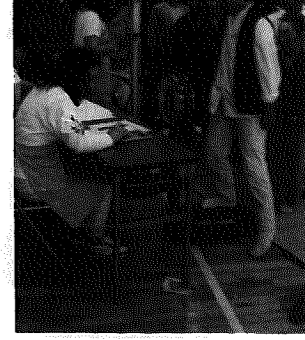
●芸術・文化

伝統に育まれた特有の文化を継承するとともに、博物館の保存とその活用を図ります。また、村民の意欲的な参加が得られれば、新しい文化の創造という視点から「陶芸、工芸の里」づくりを推進します。

適正な行政の運営

●行政の合理化

簡素で効率的な行政をめざし、行政改革、行政の対応能力の回復を進め、適正な行政の運



広域体制による処置体制の強化、防犯については地域環境の浄化に努め、村民の安全を確保します。

社会福祉の充実

●心ふれあう、潤いのある村に

生涯を通じて健やかに充実した生活を送ることが出来る明るい長寿社会の実現のため、キメ細かな対策を進め、心ふれあう潤いのある村を目指して、社会福祉の充実に努めます。

●地域福祉

社会福祉協議会の充実強化を図り、各種広範な福祉団体の積極的な活動を触発し、総合的な福祉体制の整備を実現します。

●児童福祉

地域と一体となった環境づくりに努め、家庭の教育力を高め、地域社会共通の意識づくりを推進します。また、遊びや集団学習をおし創造性の豊かな児童を育成するため、保育園の施設と保育内容の充実を図ります。

営に努めます。

●行政

多様化する行政需要にこたえるため、行政事務の合理化、適正な行政組織と事務配分を行い、事務のOA化、職員の資質向上に努め、村民サービスを図ります。

●財政

財政の運営にあたっては、村民の要請に応じて行政の役割を見直すとともに効率的な行政の実現のため、事務、事業の合理化、消費的経費の節減、自主財源の確保、財源の重点的効率的配分を図り健全財政の運営に努めます。



村づくり目標

- 産業が振興し豊かで活力ある 岩室村
- 自然と歴史が調和して心温まる 岩室村
- 明るく健康で快適に暮らせる 岩室村